

京丹後地域における運動器疾患に関する縦断的疫学研究

教授・高橋謙治からのメッセージ

運動器の健康は長寿の秘訣です！



キーワード

運動器疾患、変形性関節症、変形性脊椎症、縦断研究、健康長寿

研究の概要

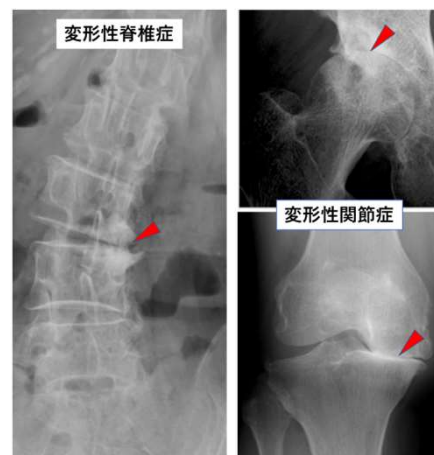
この研究では京丹後地域の高齢者を対象として2年毎に運動器健診を行います。運動器疾患や運動習慣と長寿との関連を明らかにし、健康寿命が延伸した長寿社会を目指しています。

研究内容

京都府京丹後地域（京丹後市、宮津市、伊根町、与謝野町）の高齢者を対象として運動器疾患（頸椎、腰椎、肩、股関節、膝、足など）に関する健診を2年毎に行います。

一次健診では四肢および体幹の痛みやしびれの有無について問診を行います。現在までの運動習慣や健康に関連したQOLについても調査します。また骨密度検査・体組成評価、血液検査、歩行速度・筋力評価を行います。

高齢者に罹患しやすい変形性関節症などの四肢・体幹に疼痛を引き起こす疾患について、単純X線検査およびCT検査を用いて評価します。特に体幹・下肢関節については立位で行うことで関節に生じた変化を正確に検出します。二次健診として整形外科専門医による診察を通じて生活指導や保存療法を行います。



今後の展望

運動器が長寿に与える影響を明らかにすることで、運動器機能を維持することの重要性を啓発します。